

YATSUGATAKE通信



校長 藤巻 昭彦

学校教育目標～八ヶ岳高原のこの地を愛し、人間性豊かに生き抜く生徒

温かい声援ありがとうございました！

第53回青雲祭は、新型コロナウイルス対策の一環として発表部門のみの一日開催となりました。また、18日から2年生の宿泊学習・1年生の校外学習があり、その準備の関係で平日開催としました。(当初は修学旅行も計画していました。)平日にもかかわらず、延べ100人近くの方が参観にいられました。改めて学園祭に対する関心の高さを感じました。

発表部門では、坂本琉生徒会長のオープニング宣言で幕が開きました。学年劇・吹奏楽部・全校合唱・ボディパーカッションと、表現力が試される様々な演目が続きました。生徒達は様々な制約がある中で工夫を凝らし、協力し合って準備してきました。閉会式では大きな満足感につつまれていました。



「全校制作の壁画」



1年「大きな河と魔神のランプ」



2年「夢屋」



3年「Alice

～世界がアリスの夢だったら～」

学年劇はHPにUPする予定です。(近日中)

演劇は虚構(フィクション)です。それをどうやったら現実のようにリアルに見せられるかということが大事な点です。役者だけではできません。背景、大道具・小道具、衣装とそれぞれが持ち場で、気持ちを揃え心を合わせて、はじめて人を感動させる「演劇」が



できるのだと思います。1年生の演劇からは「献身とはどういうことか?」ということが伝わってきました。2年生からは「自由の意味」、3年生からは「現実に立ち向かう勇気」というメッセージを受け取りました。「もし、この世界が誰かが見ている夢だったら」は3年生の劇の最初のセリフです。このままでは平板な言葉ですが、スタッフが力を合わせることで、血を通わせ思いを載せ人々の共感を得ることができます。演劇は素晴らしいですね!

学校では様々な行事に取り組み、その一つひとつが生徒の思い出に残ると同時に、一人ひとりの成長につながることを目指しています。青雲祭でも多くの成果があったと思います。その成果をもとに、今後の学校生活をより充実させていきたいと考えています。

合同体育 今回できなかった体育部門ですが、その代わりに合同体育を11月に行います。種目等は体育部門のままの形では難しいので工夫して行う予定です。保護者の方も参観できるように方向で考えています。

.....小淵沢中クイズの答え.....

正解は 男子バスケットボール部でした。昭和24年11月6日 県下中学校大会で優勝しました。裏面写真をご覧ください。木製のバックボードが時代を感じさせますね。



県大会の覇者

バスケットクラブ